



角濱ごまとうふ総本舗 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、積極的な取り組みを通じて、地域振興と環境保全に貢献してまいります。

代表取締役 角濱 功治



当社のSDGsへの貢献

1. 世界遺産 高野山との〈つながり〉を大切に、今後の100年を見据えて

- 高野山1200年の歴史に感謝し、祭りや各種イベントに積極的に関わり、高野山の魅力発信に貢献します
- 高野町、橋本市と連携し、地産地消で商品を製造・販売し、地域経済の活性化に貢献します
- ミャンマー北部の村とごまの無農薬栽培契約を結び生産を委託、高野山とのつながりを大切に、ミャンマーの経済発展に寄与します
- 「見守るめ運動」により住みよいまちを守ります



2. 高野山精進料理として受け継がれた「ごまとうふ」の時代にあわせた提供

- 安全・安心できる食材（無農薬のごま、吉野葛）を使用し、添加物を使わない製法を守ります
- 精進料理である「ごまとうふ」を受け継ぎ、気軽に新しいスタイルの「ごまとうふ」を提供します
- 高温加熱殺菌処理・超高压処理装置など、新しい技術を活用し、現代のニーズに合わせた商品開発に努めます
- 米粉を使ったグルテンフリーの精進ラーメンの共同開発など、お客さまにお喜びいただける、健康に良い商品を追求します



3. 人材育成と働きやすい職場環境づくり

- 福利厚生の充実、業務効率化により、従業員のワークライフバランスの実現を推進します
 - 若い方から高齢者、外国人まで多様な人材を登用し、働きがいのある企業を目指します
 - 接客・電話対応マナーに重点を置いた人材教育を実施します
- < 当社が目指す取り組み >
- 農業で交流のあるミャンマーより、日本語を学んだ方を高野山に招き、自社で働いてもらう（WIN-WINの関係を構築）



4. 環境にやさしい企業活動

- 照明のLED化による節電
 - 包装用資材に再生紙や環境に優しいインクを使用し、環境負荷を軽減
 - 従来廃棄していた「ごまのおから」を液体肥料として再利用
- < 当社が目指す取り組み >
- 「ごまのおから」を付加価値のある化粧品などに再利用



SDGsとは・・・

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略であり、2015年9月に国連で採択された世界共通の目標です。2030年までに政府、企業、地域社会のあらゆる人がSDGsを実現するための役割を担っています。